

平成22年度新ふるさとづくり総合支援事業評価表 中予地方局

市町	事業名	事業概要	評価
松山市	松山観光客誘致展開プロジェクト事業	松山観光の総合的なプロデュースを行うとともに、松山旅行商品の企画、造成、告知、販売を戦略的に展開	スペシャルドラマの放送を絶好の機会として、旅行会社をはじめとする観光業界全体への戦略的な広報宣伝を行った結果、業界新聞や雑誌、インターネットを活用した松山情報の発信に加え、『坂の上の雲』をゆかりとした地との交流事業やその地域でのキャンペーンの展開など、誘客に結びつける取組みを行うことができた。
	「ふるさと松山学」教材作成事業（「俳句の本」作成）	松山ゆかりの先人や伝統文化を、小中学校の教材として冊子にまとめ、市内各小中学校に配布	正岡子規の俳句等松山ゆかりの言語文化をまとめた教材を、市内小中学校に配布することができた。今後、子供たちが、ふるさと松山を再認識し、郷土に対する誇りと愛情をはぐくみ高い志を持てるよう、さらに、教材を有効活用することとしている。作成に時間を要し、実際の配布が年度末となったが、当年度で活用できれば、さらに効果的だったと考えられる。
	家庭系ごみ減量・リサイクル事業	23年度からのゴミ分別の強化に当たり、先行モデル事業を実施するほか、「説明ちらし」「はやわかり帳」を作成	ペットボトルのモデル事業により、実際に生活する中での単独排出を通して得られた排出実態、取組みの感想及び実施の可否等制度設計の基礎となる貴重なデータが得られた。また、ちらし等により、ペットボトル分別排出の詳細を市民に周知することができた。
	松山島博覧会「忽那諸島の歴史」開催事業	松山島博覧会の一環として、資料里帰り展、シンポジウム、歴史講座を開催	資料里帰り展、シンポジウム、歴史講座を開催することにより、忽那諸島の歴史に対する認識と文化財への関心を高めることができた。
	「新聞制作体験学習」支援事業	中学生に新聞紙面制作体験学習を実施（松山市が新聞社に広告掲載料を支払い、紙面を借上げ）	生徒が新聞に親しむきっかけとなり、国語力やコミュニケーション能力の向上に役立ち、元気で活気に満ちた生徒づくり、地域づくりに貢献することができた。
	共生のまちづくり啓発事業	市内施設のバリアフリーマップ（ホームページ版）の機能を拡充（AED情報や音声コードなど）するほか、啓発チラシを配布	市内施設のバリアフリーマップ（ホームページ版）を改訂し、啓発チラシを配布することで、直接的な効果を得るとともに、新聞、テレビに取り上げられたことによるパブリシティ効果も発揮され、市民の障害者に対する理解促進に貢献することができた。実施が年度末となってしまったが、もう少し早期の実施ができれば、さらに効果的だったと考えられる。
	消防団・自主防災組織連携事業	訓練用の貸し出し用資器材を整備し、自主防災組織に対し、地元消防団員が訓練指導や連携訓練を実施	炊き出し資材購入により、炊き出しコーナーへの参加者が増加し、配布食糧も増加し、非常食の重要性の認知が深まった。大規模災害への備えの必要性を消防団、市民、そして地域が認識し、消防団と自主防災組織の連携が強化された。
	城山公園堀之内地区完成記念イベント事業	城山公園第1期整備完成記念イベントとして、「流鏝馬」を再現するほか、子供を対象に乗馬体験などを実施	イベント当日は、想定していた3千人を上回る7千人の参加があり、盛況のうちに終了した。流鏝馬実演がTV、ラジオでも取上げられ、お城まつり期間中、前年以上の参加者数となり、中心市街地の活性化にも繋げることができた。
	（新）だからことば大募集	新たな“ことば”を募集・審査し、「過去の市長賞作品のモニュメント設置」、「作品の市内一円展示」を実施	募集に際して、全国の報道のみならず、市内教育機関や民間団体へのごとく活用も見込んだPRや、祭り等各種行事においても積極的に周知を図ったことにより、作品の利用等についての問い合わせが非常に多く寄せられ、行政のみならず市民を巻き込んだ展開とすることができた。
地域発！坂の上の雲探訪事業	「坂の上の雲のまちづくり」の機運醸成を図るため、高齢者の「坂の上の雲」ゆかりの町並み探訪実施	当初計画よりも多数の参加者があり、「坂の上の雲のまちづくり」への関心も高まり、また、地域外への外出が少ない高齢者も多数参加し、参加者の交流も深めることができた。	
ドラマ出演者の招聘による「ウォークイベント」&ドラマ館リニューアルセレモニー	スペシャルドラマ「坂の上の雲」出演者を招聘しての「ウォークイベント」やドラマ館リニューアルセレモニーを実施	「坂の上の雲」の史跡やゆかりの地を単に回るのではなく、地元の俳人や専属ガイドが参加者と同行し、ストーリー性のあるウォーキングコースを設定し、俳句の作り方を教示するとともに、ドラマ館リニューアルセレモニーを同日実施することで、参加者が「坂の上の雲」をイメージしやすい内容にすることができた。	

市町	事業名	事業概要	評価
伊予市	地域公共交通システム構築事業	中山地区・双海地区住民の生活を守るため、新しい公共交通の整備について検討（調査やアンケート実施）	新しい公共交通システムの構築（地域公共交通体系の見直し）に当たって、地域に直接出向き、住民参加型の意見交換会を実施することにより、地域住民の幅広い意見を聴取し、反映させることができた。
	伊能図フロア展えひめ開催事業	伊能忠敬の「伊能図フロア展えひめ」を開催	計画段階の予想参加者5千名に対し1万1千名近い参加者の来場があり、「伊能図フロア展えひめ」を通して、伊予市のPR、地域の活性化につなげることができた。
	食育&食文化振興・交流促進事業	『伊豫国「あじの郷」づくり』推進のため、新しい産業開発や販路拡大、観光開発及び交流促進の仕組みを確立	商品開発や新たなイベントを開催することで、地域内に経済効果があり、『伊豫国「あじの郷」づくり』に対する市民意識の喚起につながった。また、専門家によるセミナーを開催することで、まちづくりに重要な、マーケティング及びPR戦略、プロジェクト、マネージメント、インターネット戦略に関する知識とノウハウを学ぶとともに、市民協働に関する意識づけを行うことができた。遠隔自治体連携では、新たな販路を構築することで、相互の売上げ増加につながられた。
東温市	グリーン&クール化推進事業	市民や公民館に蔓性植物の種を配布するほか、庁舎・学校・児童館に緑のカーテンを設置し、川内保育園において芝生体験学習モデル事業を実施	緑のカーテン設置事業がTVや新聞等、様々なメディアに取り上げられたこともあり、蔓性植物の種を、当初目標300世帯を上回る500世帯に配布することができ、予想以上の効果を上げることができた。また、市庁舎の緑のカーテンから収穫されたゴーヤを、保育所での給食や、市民への無償配布に活用することで、さらに効果的なPRができた。
	「科学の芽」を育む支援事業	愛媛大学やNPO等と連携し「科学の芽」を育む支援事業を実施	環境教育に対する基本理念に基づき、様々な主体との連携を図ったことで、マスコミ、雑誌等にも紹介され、それらにより、市民グループとの連携、企業CSR活動による講座提供、NPO等からの企画提案など、質の高いプログラムを実施することができた。
久万高原町	久万高原 木と住まいの相談窓口プロジェクト	都市へのPRと地産地消住宅の建設促進のため、木と住まいの相談窓口の運営、住宅セミナー開催、久万杉フレームの家プロトタイプ商品化、久万杉フレームの家供給体制構築を実施	木と住まいの相談窓口においては、地域マネージャーが相談者の希望を取り入れながら、推進する町産材を使用した住宅を3棟新築することができた。住宅セミナーでは、延べ242人の参加者があり、木造住宅についての理解を深めることができた。
	イメージキャラクター等作成事業	情報発信や観光PRのため、イメージキャラクターデザイン、キャラ名称及びロゴを公募し、イメージキャラクターの着ぐるみを作成	キャラクターデザインの出来がよく、公表後すぐに使用したいとの申請があり、効果が現れている。イメージキャラクター「ゆりぼう」は、町民の関心も高く、マスコミでも多く取上げられており、今後、キャラクターを使用した町の活性化が期待できる。
松前町	愛媛県松前町・北海道松前町姉妹都市提携20周年記念友好交流事業	松前町と北海道松前町（まつまえ町）との姉妹都市提携20周年記念に、両町をそれぞれが訪問する交流事業を実施	次代を担う両町の子供たちが、交流を通して大いに親睦を深めることができた。また、両町の商工関係者の交流事業により、新たな企業との商談が進められるなど、今後の販路拡大、商業の活性化が期待できる。
	人と自然が共生できる地域づくり事業	大型商業施設（エミフル松前）の敷地内に池型ビオトープを整備し、水生生物・植物調査、自然観察会を開催	ビオトープを整備し、水生生物・植物調査、自然観察会を開催することにより、水辺のすばらしさ、貴重さ、次世代へ保全していく大切さへの認識が得られた。なお、ビオトープは、自然環境に左右されるため、水生生物の定着、生育を確認するためには、もう少しばかり時間を要する。
	「第6回全国むら芝居サミットinまさき」の開催	全国むら芝居ネットワーク（24団体）による全国むら芝居サミットを松前町徳丸地区の住民が中心となって開催	全国のむら芝居団体の多彩な演劇を楽しめる機会を町民に提供することができ、また、全国への文化発信の機会とすることができた。参加団体が全国各地から集まり、地域交流が促進され、文化保存・継承に役立てられた。
	松前町防災フェア開催事業	松前町防災訓練と連動してエンターテインメント性の高い防災イベントを開催	エンターテインメント性の高い防災イベントであったため、気軽に参加でき、通常は防災訓練の参加率が低い乳幼児、子育て世帯の参加が得られ、多くの住民が防災についての理解を深めることができた。
砥部町	防災知識普及啓発事業	防災に関する知識の普及啓発を図るため、最新の情報を用いた防災講座の開催、講座教材用の防災マップの改訂（マップは各戸配布）を実施	防災講座により、町内の災害危険個所の周知、小学校区単位での総合防災訓練・避難誘導訓練等の検討を行うなど、地域の防災意識を高めることができた。
	坂村真民作品等データベース構築事業	23年度開館予定の坂村真民記念館建設に伴い、1万点を超える作品及び資料を整理するためのデータベースを構築	データベースシステム構築により、坂村真民氏の作品を把握し、適正に管理することが可能となり、来館者に対し、より多くの真民詩を情報提供することが可能となった。